

平成18年（2006年）3月

そけい（ヤスミヌム）属

(Jasminum L.)

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映していません。

出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。（以下 HP の植物区分ごとの特性表参照。

→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html）

なお、それぞれの重要な形質に対する定義等は変更されていません。

3 特性審査基準(案)

(1)特性審査基準(案)

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
樹姿	1	樹姿	樹姿	観察	つる性 叢生	1 2		
	2	枝の横断面の形	当年枝横断面の形	観察	丸形 四角形	1 2	オウバイ	
	3	節間長	当年枝の節間長	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	オオバナソケイ	
	4	枝の色	当年枝の色	観察	黄緑 緑 緑褐 赤褐	1 2 3 4		
	5	枝の毛の有無	当年枝の毛の有無	観察	無 有	1 9		
葉の形状	6	葉の持続性	常緑性、落葉性の別	観察	常緑性 半落葉性 落葉性	1 2 3		
	7	葉序	葉序	観察	対生 互生 主に輪生	1 2 3		
	8	小葉の枚数	小葉の枚数	観察 (枚)	1(単葉) 3 3~5 5 5~7 7 7~9 9 9<	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	9	葉身長	最大葉の葉身長	測定 (cm) 図1	短 中 長	3 5 7		
	10	葉幅	最大葉の葉幅	測定 (cm) 図1	狭 中 広	3 5 7		
	11	葉の色	当年枝成葉の色	観察	黄緑 淡緑 緑 濃緑 灰緑	1 2 3 4 5	オオバナソケイ	
	12	葉の斑の有無	葉の斑の有無	観察	無 有	1 9		
	13	葉の斑の種類	葉の斑の種類	観察 図2	覆輪 中斑 掃け込み斑 散斑 モザイク状斑	1 2 3 4 5		
	14	葉の斑の色	葉の斑の色	JHSカラーチャートの色 票番号による				
	15	葉の光沢の有無	当年枝成葉の光沢 の有無	観察	無 有	1 9		
	16	葉の毛の有無	当年枝成葉の毛の 有無	観察	無 有	1 9		

重要な 形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
葉の形状	17	葉柄長	最大葉の葉柄の長さ	測定 (cm) 図1	短 中 長	3 5 7		
	18	頂小葉の形	頂小葉の形	観察 図3	披針形 倒披針形 橢円形 卵形 倒卵形	1 2 3 4 5		
	19	頂小葉先端の形	頂小葉先端の形	観察 図4	突形 尾状鋭尖形 鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	1 2 3 4 5 6		
	20	頂小葉基部の形	頂小葉基部の形	観察 図5	楔形 鋭形 鈍形 円形 心形	1 2 3 4 5		
	21	頂小葉の長さ	最大葉の頂小葉の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7		
	22	頂小葉の幅	最大葉の頂小葉の幅	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7		
	23	側小葉の形	側小葉の形	観察 図3	披針形 倒披針形 橢円形 卵形 倒卵形	1 2 3 4 5		
	24	側小葉の長さ	最大葉の側小葉の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7		
花の形状	25	花序の付き方	花序の付き方	観察	頂生 腋生 頂生・腋生	1 2 3	オウバイ	
	26	1花序の花数	1花序の最大花数	測定 (個)	少 中 多	3 5 7		
	27	一重・八重の別	一重・八重の別	観察	一重 半八重 八重	1 2 3		
	28	花の咲き方	花の咲き方	観察 図6	漏斗形 平開形 外反り形	1 2 3		
	29	花冠径	花冠径	測定 (cm)	小 中 大	3 5 7	ハゴロモジャスミン オオバナリケイ	

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花の形状	30	花筒長	花筒長	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	オオバナソケイ	
	31	花冠裂片の形	花冠裂片の形	観察	披針形 倒披針形 橢円形 卵形 倒卵形 円形	1 2 3 4 5 6		
	32	花冠裂片先端の形	花冠裂片先端の形	観察 図4	突形 尾状鋭尖形 鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	1 2 3 4 5 6		
	33	花冠裂片の長さ	花冠裂片の長さ	測定 (mm)	短 中 長	3 5 7	ハゴロモシヤスミ オオバナソケイ	
	34	花冠裂片の幅	花冠裂片の幅	測定 (mm)	狭 中 広	3 5 7	オオバナソケイ	
	35	花冠裂片表面の色	花冠裂片表面の色	JHSカラーチャートの色 票番号による				
	36	花冠裂片表面の模様の有無	花冠裂片表面の模様の有無	観察	無 有	1 9		
	37	花冠裂片表面の模様の種類	花冠裂片表面の模様の種類	観察 図7	覆輪 ぼかし 絞り	1 2 3		
	38	花冠裂片表面の模様の色	花冠裂片表面の模様の色	JHSカラーチャートの色 票番号による				
	39	花冠外側の色	花筒部の色	JHSカラーチャートの色 票番号による				
	40	柱頭の突出の有無	柱頭の突出の有無	観察 図8	無 有	1 9	オオバナソケイ ハゴロモシヤスミ	
品質特性	41	花の香り	花の香りの有無・程度	官能	無又は極弱 弱 中 強 極強	1 3 5 7 9	オオバナソケイ ハゴロモシヤスミ	
早晩性	42	開花の早晩	自然開花始	観察	2～3月 4～5月 6～7月 8～9月 10～11月 12～1月 周年	1 2 3 4 5 6 7	オウバイ ハゴロモシヤスミ オオバナソケイ	

標準品種名	学名
オオバナソケイ	<i>J. officinale</i> L. var. <i>grandiflorum</i> Bailey (<i>J. grandiflorum</i> L.)
ハゴロモシヤスミ	<i>J. polyanthum</i> Franch.
オウバイ	<i>J. nudiflorum</i> Lindl.

(2)特性審査基準(案)参考図

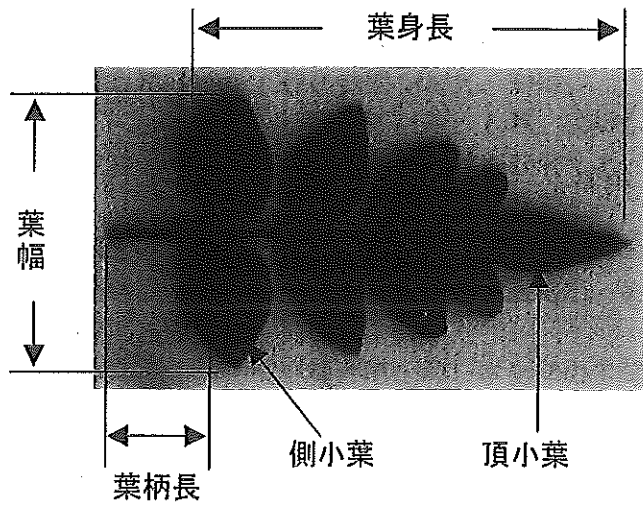


図1

葉身長、葉幅及び葉柄長
(形質9、10及び17)



図2 葉の斑の種類 (形質13)

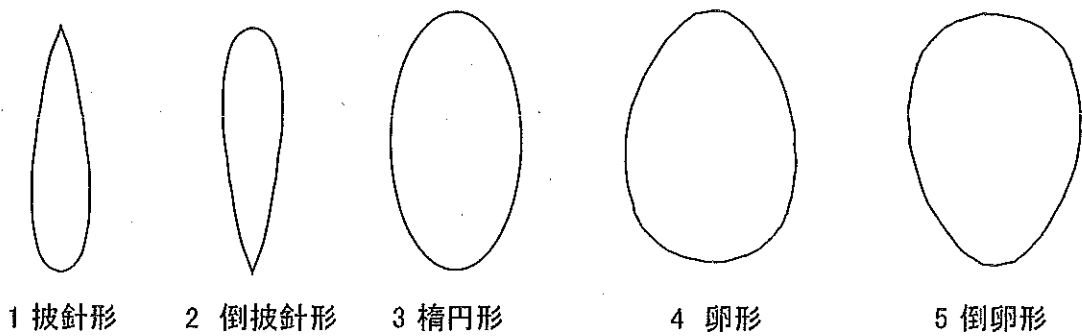


図3 頂小葉の形、側小葉の形及び花冠裂片の形 (形質18及び23)

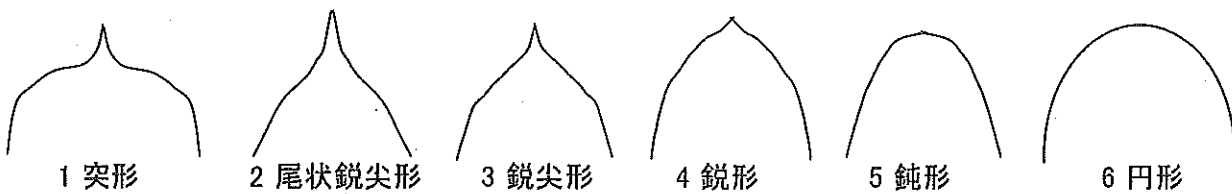


図4 頂小葉先端の形及び花冠裂片先端の形 (形質19及び32)

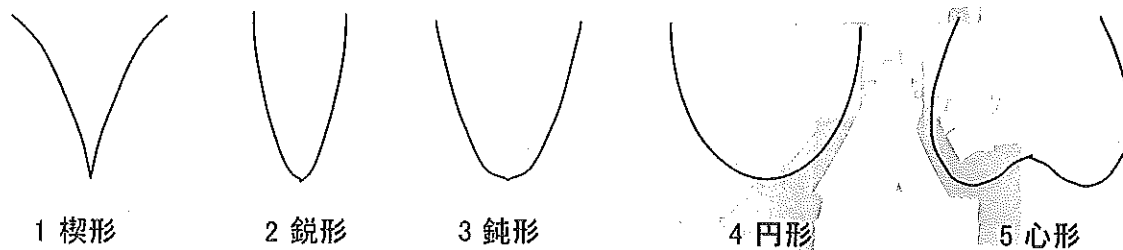


図5 頂小葉基部の形 (形質20)

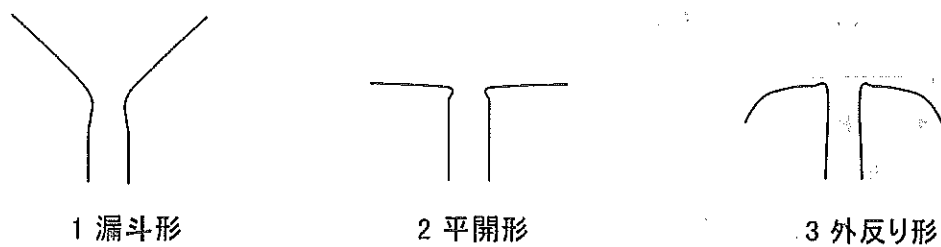


図6 花の咲き方 (形質28)

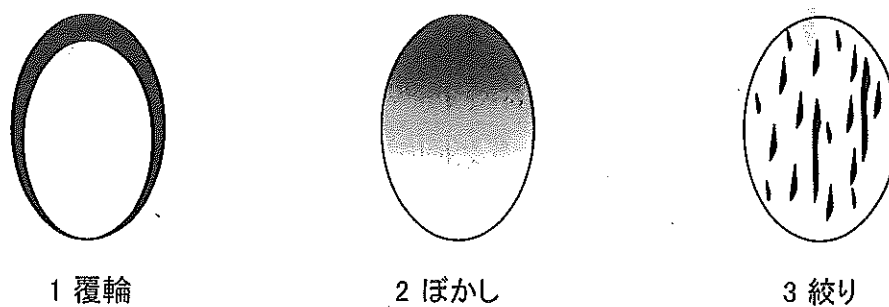


図7 花冠裂片表面の模様の種類 (形質37)

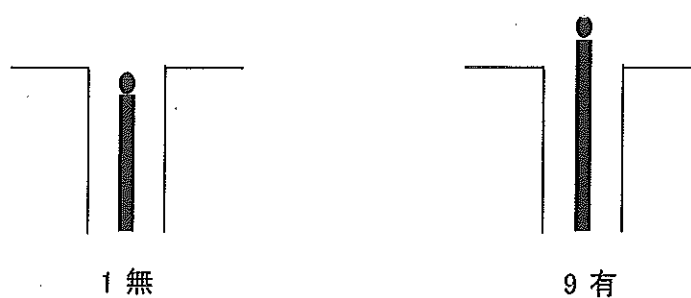


図8 柱頭の突出の有無 (形質40)

4 特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

- ・作型 施設鉢栽培
- ・挿し木 春咲き種：5月、節挿し
春咲き種以外：6月、節挿し
- ・定植 春咲き種：7月、5号仕上げ鉢へ
春咲き種以外：9月、5号仕上げ鉢へ
- ・用土 一般園芸培養土
- ・施肥 生育状況に応じ適宜追肥、冬期は無施用
- ・摘心・整枝 摘心は1回
春咲き種：挿し木当年の定植、活着後（7月）に摘心
春咲き種以外：挿し木当年は放任、挿し木翌年2月に1節残して摘心
- ・支柱 支柱等適宜使用可
- ・温度管理 冬期最低温度設定 7～8℃

※春（晩冬～春）に開花し、かつ、開花期間が短いもの（ハゴロモジャスミン（*J. polyanthum*）など）を「春咲き種」とし、他の季節に咲くものや比較的開花期間が長いもの（オオバナソケイ（*J. officinale* L. var. *grandiflorum*）など）と栽培方法を分けた。

(2) 供試個体数 10株

(3) 調査対象 挿し木翌年開花株（2年生株）

5 参考文献

- 塚本洋太郎（総監修）（1994） 園芸植物大事典 第2巻 P2571-2574 小学館
THE ROYAL HORTICULTURAL SOCIETY （1997） Dictionary of Gardening
vol.2 P712-713
PLANT VARIETY RIGHTS OFFICE (NEW ZEALAND)
OBJECTIVE DESCRIPTION OF VARIETY [JASMINE] (*Jasminum* L.)